

# 事例 28 職場体験学習

**DATA**  
 場所：山形県山形市  
 実施者：山形工事事務所 地域づくり推進室 [TEL(023)688-8421]  
 参加者：山形市立第一中学校2年生 31名、教諭 1名  
 実施日：平成12年9月21日  
 学習時間：6時間

関係する分野  
 環境 交通 社会 地域 歴史 福祉 健康

## 背景

山形市立第一中学校では、以前から実際に職場に赴き、話を聞いたり、そこで働いたりする職場体験学習を2年生で実施していました。  
 山形工事事務所は、平成12年度に職場体験学習を受け入れる事業所として登録しました。

## 内容

職場体験学習という時間なので、見学だけではない要素を盛り込んだ内容とし、バイパスの高架橋建設現場では工事の説明と測量機器の操作体験、排水機場では操作員の方の説明と見学、防災ステーションでは現場の出張所所長と管理している町の職員による説明、水質分析の体験では行程の途中で採水した河川水を使うなど、その現場に従事している方々からの生のお話と、生徒ひとりひとりが体を動かして学べるような学習を実施しました。



工事現場での見学の様子



学習会の様子

## ポイント

- 建設現場の案内にとどまらず、職場としての様々な分野の仕事を知っていただくとともに、参加した生徒自身が体験できる項目を準備しました。
- 工事中の建設現場や河川から水質分析用の水を採水する際には、特に生徒の安全を意識しながら体験していただけるようにしています。
- 社会を支えるために働いている人々の姿と生の声を通して、仕事の大切さと、社会性の向上を図ります。
- 現場での説明も、建設現場の監督をされている方や実際に排水機場を操作されている方、自ら施設の管理をされている方など、生の声を生徒の皆さんに伝えられる方を選定しています。

## 成果

私たちの生活を支える公共施設の建設現場の見学にとどまらず、現場で建設や供用後の維持管理などに従事する方々の生の話を伺うことで、新たな体験と社会に貢献する人々の活動を考える契機となる支援ができました。

## 参加者の声

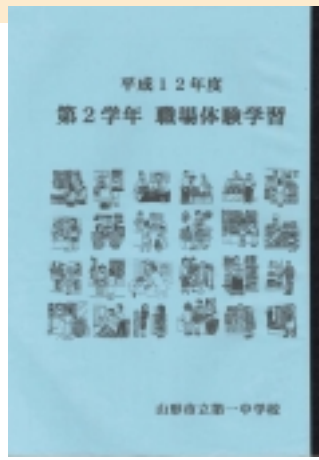
「上山バイパスに行き、設計、工事について説明を聞き、まだ建設途中の建物に上ったりしました。とてもいい体験をさせてもらいました。」  
 (山形市立第一中学校 2年生)

「職場体験学習で建設省ではどんな仕事をしているのかわかったし、楽しい体験もできたのでよかったです。」  
 (山形市立第一中学校 2年生)

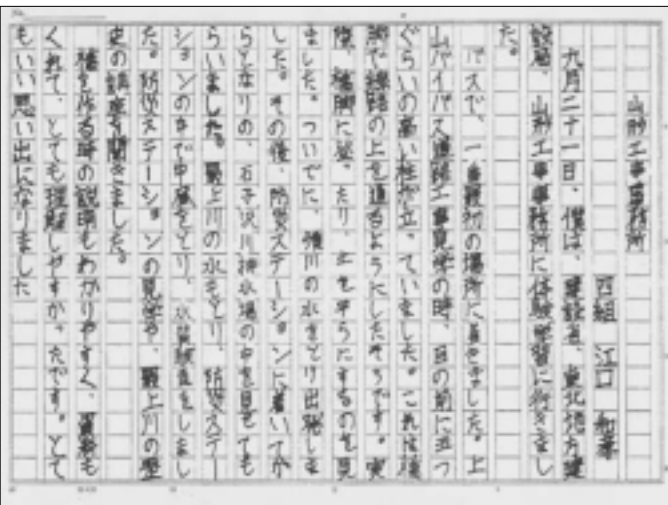
「石子沢川排水機場を見させてくださいました。ゴミを取る仕組みを見させていただいた時は、こうやって川の環境と人の安全を守っているんだなと思いました。」  
 (山形市立第一中学校 2年生)



2年吉成沙衣子さんの感想文



職場体験学習をまとめた冊子



2年江口和孝さんの感想文

## 次のステップに向けて

- 国土交通省の仕事のイメージとしては、大規模な建設現場などを思い浮かべられる方が多いと思いますが、すでにある施設の維持管理に従事されている方々の日常の活動があってこそ、私たちが便利に利用できる一面もあります。国土交通省の委託を受けて、河川や国道の管理の一翼を担っている方々を訪ねて、そのお仕事を体験したりお話を伺うことは、貴重な社会学習になるでしょう。